

第三回 笠岡市 木山捷平文学選奨

庶民的な視点から飄逸^{ひょういつ}でユーモアと滋味あふれる作品を数々残し、その独自の文学世界で日本文学に特異な地位を確立した木山捷平。
この文学選奨は、笠岡市出身の詩人・小説家である木山捷平の功績を顕彰するとともに、文学の振興及び豊かな芸術文化の高揚を図るために創設されました。

木山捷平短編小説賞

新人で未発表の新作を対象とした短編小説部門には、全国から二四三点の応募がありました。

予備選考を経て十作品に絞られ、その中から山形県白鷹町の、紺野真美子さんの『背中の傷』に決定しました。



紺野 真美子さん

『背中の傷』あらすじ

万作は息子の嫁、杏子の父親である庄吉の葬式にでるため空路福岡へ向かう。庄吉は亡くなる半年前に万作に一通の封筒を託していた―自分にもしものことがあったら杏子にこれを渡して欲しい。東北の地で農業と出稼ぎに精を出してきた万作と、会社を経営する裕福な庄吉。共通点のない二人は、数少ない係わりの中でお互いを認め合っていた。万作は封筒の中をみてはいない。しかしそれが杏子の背中にあるという深い傷痕と関係しているのではないかと思

っていた。

父親の通夜、葬儀の場にあつても泣かない杏子を家族がそれぞれに気遣う。庄吉の最後を送ったあと、万作は庄吉からの預かり物を渡す。覚悟していたように重苦しい過去の出来事を語り始めた杏子は、話しを終えたあと、庄吉への想いを、後悔を吐露する。

「もう、いいでねが」

万作の言葉とすすり泣く杏子の声が、晩秋の空に吸い込まれていった。

随筆・詩・短歌・俳句・川柳

随筆・詩・短歌・俳句・川柳

随筆・詩・短歌・俳句・川柳には、合わせて一、三十八人の応募をいただきました。たくさんのご応募ありがとうございます。

その中から、それぞれの部門で最優秀及び優秀一点、入選三点（詩部門の小・中学生の部は入選十八点、佳作十八点）が入賞作品として決まりました。

川柳 最優秀



森山文子さん
(美の浜)

俳句 最優秀



高田 邇(ちか)さん
(西大島)

短歌 最優秀



江村定美さん
(山口)

詩 最優秀



浅野美和さん
(三番町)

随筆 最優秀



山部甲一さん
(山口)

★世界一トリートメント★

カール美容室 63-6723

数ある美容室の中から選ばれたごくわずか1%の店舗でしか扱えないとても希少価値の高いトリートメントです。このミラクルなトリートメントは今までのトリートメントと違い、その場で効果が実感できます。ダメージでお悩みの方は、ぜひ一度『カール美容室』にご来店下さい。

■新規ご来店の方でパーマ・カラー・トリートメントメニューをされた方には

ホームケア用『世界一トリートメント(2500円)』をプレゼントいたします。

●定休日/月・第3日曜

●営業時間/9:00~18:30

●笠岡マルナカ西隣り

私達がお待ちしております。

